

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2009-97805(P2009-97805A)

【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2007-270356(P2007-270356)

【国際特許分類】

F 2 8 F 1/30 (2006.01)

【F I】

F 2 8 F 1/30 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

間隔を置いて平行に配置された複数の水平なヘッダパイプと、前記複数のヘッダパイプの間に所定ピッチで複数配置され、内部に設けた垂直な冷媒通路を前記ヘッダパイプの内部に連通させた垂直な偏平チューブと、前記偏平チューブ間に配置されたコルゲートフィンとを備えた熱交換器において、

前記コルゲートフィンは、フィン表面が風下側に向かい下り勾配となった風上側コルゲートフィンと、フィン表面が風下側に向かい上り勾配となった風下側コルゲートフィンからなり、前記風上側コルゲートフィンの風下側端部と前記風下側コルゲートフィンの風上側端部とが所定の間隙を隔てて配置され、

前記偏平チューブの風上側端部と風下側端部には空気の流通方向と平行に突出するリブが設けられ、前記風上側コルゲートフィンは、前記偏平チューブの風上側端部に設けられたリブの先端に並ぶ位置近傍まで延出され、前記風下側コルゲートフィンは、前記偏平チューブの風下側端部に設けられたリブの先端に並ぶ位置近傍まで延出され、
前記偏平チューブの風上側端部に設けられたリブと前記風上側コルゲートフィンとの間、または前記偏平チューブの風下側端部に設けられたリブと前記風下側コルゲートフィンとの間に排水溝が形成されていることを特徴とする熱交換器。

【請求項 2】

前記偏平チューブは、前記風上側コルゲートフィンを溶着した風上側偏平チューブと、前記風下側コルゲートフィンを溶着した風下側偏平チューブに分割されていることを特徴とする請求項 1 に記載の熱交換器。